

クロスカントリー（馬術）会場の整備状況について

クロスカントリーは、総合馬術の1要素として、海の森（水上競技場北側の公園予定地）にて実施。仮設会場として組織委員会が整備。

1 馬術競技について

- ・障害馬術、馬場馬術、総合馬術の3種別。
- ・総合馬術は、障害、馬場、クロスカントリーの3種を総合して競う。

2 クロスカントリー会場の整備状況について

- ・現在、コースについて、できるだけ樹木と重複しないよう、組織委員会がIF等と調整中。
- ・コースと重複する樹木については、基本的に公園内に移植。
必要に応じて間伐を予定。
◇移植対象の樹木は、植樹された24万本のうち2万本程度を想定。

※「海の森」は都民募金による苗木購入や苗木づくりをボランティアで行い、植樹作業も都民や企業と協働で行っている海上公園予定地（募金、植樹は終了）。

3 今後の整備予定について

平成28年12月中旬頃	オリパラ環境アセス評価書案公表・都民意見募集（都実施） ※評価書案の中で、移植等について記載
平成29年 3月頃まで	コース設計実施
3月下旬頃	移植工事開始
7月頃	コース造成工事等開始
平成30年 6月頃まで （養生期間）	コース上に芝を貼り付け
平成31年 夏頃	テストイベント実施

4. 環境影響評価書案の概要

4.1 海の森クロスカントリーコースの概要

本評価書案の対象である海の森クロスカントリーコースの概要は、表 4-1 に示すとおりである。

海の森クロスカントリーコースは、東京港中央防波堤内側埋立地に仮設で整備される施設であり、東京 2020 大会では、オリンピックの馬術（総合馬術：クロスカントリー）の会場として利用される計画である（現時点（平成 28 年 12 月）の計画）。

計画地のほとんどが海の森公園（仮称）の予定地となっている。海の森公園（仮称）は海の森（仮称）構想（平成 17 年 2 月東京都港湾審議会答申）を踏まえ、スダジイ、タブノキ、エノキ等約 24 万本の植樹を行ってきた。こうした背景から、海の森クロスカントリーコースの整備計画については、海の森公園の整備方針・計画に沿うよう配慮を行い、既存樹木への影響の回避・低減を図るとともに、大会のために整備する芝コースについては、大会後も海の森公園（仮称）の一部として利用が可能となる計画である。

表 4-1 海の森クロスカントリーコースの概要（予定）

項目	内容
競 技	オリンピック：馬術（総合馬術：クロスカントリー） パラリンピック：-
所 在 地	東京都中央防波堤内側埋立地
地 域 地 区	防火・準防火地域：指定なし その他地域地区等：市街化調整区域
計画地面積	約 58.7ha
施設用途	仮設施設
駐車台数	未定
工事予定期間	平成 28 年度～平成 32 年度
竣工時期	平成 32 年度

【大会時イメージ図】

